学校番号	3005

令和２年度　　工業科（建築系）

教科	工業	科目	建築製図	単位数	３単位	年次	３年次 （深化コース）
使用教科書	建築設計製図（実教出版）						
副教材等							

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

鋼構造は、鉄筋コンクリート構造と同様に、他の建築科目（建築構造や建築構造設計）と密接な関係があるので、設計の仕方や考え方、構造の特性について十分に理解しておきましょう。

鋼構造の図面の種類とその縮尺との関係、部材の組立・接合の方法と表現、仕上材の取り付け方などの知識と技術をしっかり身につけましょう。

2　学習の到達目標

鋼構造の各種図面の種類と、その縮尺との関係を理解し、鋼構造の特徴である部材の組立・接合の方法と表現、仕上材の取り付け方などの知識と技術を習得させ、実際に活用する能力と態度を育てる。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:技能	d:知識・理解
観点の趣旨	各種建築工事に使用される設計製図を作成することに興味・関心を持ち、建築設計製図の意義や役割の理解及び諸問題の解決を目指して、主体的に学習に取り組むとともに、建築技術者としての望ましい心構えや態度を身につけている。	各種建築工事に使用される設計図書作成に関する諸問題を、総合的な見地から的確に把握し考察を深め、建築設計製図における基礎的・基本的な知識を活用して適切に思考・判断し、創意工夫した製図法で的確に表現する力を身につけている。	各種建築工事に使用される設計図書作成に関する基礎的・基本的な知識を習得するとともに、創意工夫して表現する設計製図の技法を身につけている。	建築設計製図に関する学習や作図・課題演習を通して、建築設計製図に関する基本的な概念や総合的な把握の仕方を理解し、各種建築工事における設計図面の意義や役割、差御意う手順などの知識を身につけている。
評価方法	・授業準備状況 ・授業への参加状況 ・学習状況の観察 ・製図課題の内容と提出状況 ・自己評価及び相互評価等	・学習状況の観察 ・製図課題の内容と提出状況 ・自己評価及び相互評価等	・学習状況の観察 ・製図課題の内容と提出状況 ・自己評価及び相互評価等	・学習状況の観察 ・製図課題の内容と提出状況 ・自己評価及び相互評価等

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元（題材）の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
前期	鋼構造の設計製図	1．鋼構造の設計 1）鋼構造の設計手順 2）鋼構造の基礎知識 2．鋼構造の製図 1）工場設計図 ①平面図・立面図・断面図・各伏図・軸組図・柱梁リスト ②カナバカリ図・部分詳細図	 ○ ○ 	 ○ ○	 ○ ○ ○ ○	 ○ ○ ○ ○	a:鋼構造の建築物の構造形式、使用する鋼材、接合方法などに興味・関心をもち、使用目的にあった適切な構造選択の判断ができるよう意欲的に取り組む態度を身につけている。 b:図面の種類とその縮尺、部材の組立・接合の方法と表現、仕上材の取り付け方について常に思考・判断し、適切な図面表現に意欲的に取り組むとともに、実践的な行動力を身につけている。 c:鋼構造の設計の基礎知識と、基本的な各種図面の描き方の手法を体得し、鋼構造の製図法の理解に意欲的に取り組むとともに、実践的な技能を身につけている。 d:鋼構造の設計の基礎知識と、鋼構造の図面の種類とその縮尺、部材の組立・接合の方法と表現、仕上材の取り付け方について理解し、適切な図面表現に意欲的に取り組むとともに、実践的な知識を身につけている。	授業準備状況 授業への参加状況 学習状況の観察 製図課題の内容と提出状況 自己評価及び相互評価等
後期	鋼構造の設計製図	2）店舗付事務所設計図 ①配置図兼平面図・立面図・断面図 ②カナバカリ図 ③各伏図・軸組図 ④鉄骨詳細図		○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	a:鋼構造の建築物の構造形式、使用する鋼材、接合方法などに興味・関心をもち、使用目的にあった適切な構造選択の判断ができるよう、意欲的に取り組む態度を身につけている。 b:図面の種類とその縮尺、部材の組立・接合の方法と表現、仕上材の取り付け方について常に思考・判断し、適切な	授業準備状況 授業への参加状況 学習状況の観察 製図課題の内容と提出状況 自己評価及び相互評価

							図面表現に意欲的に取り組むとともに、実践的な行動力を身につけている。 c:鋼構造の設計の基礎知識と、基本的な各種図面の描き方の手法を体得し、鋼構造の製図法の理解に意欲的に取り組むとともに、実践的な技能を身につけている。 d:鋼構造の設計の基礎知識と、鋼構造の図面の種類とその縮尺、部材の組立・接合の方法と表現、仕上材の取り付け方について理解し、適切な図面表現に意欲的に取り組むとともに、実践的な知識を身につけている。	等

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
　　c:技能　　d:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について〇を付けている。